

## 引き続き防災まちづくり計画(案)に対する意見を募集しています

令和6年2月に作成した防災まちづくり計画(案)については、本通信でお伝えしたように、オープンハウスやアンケート、方南小学校での防災まちづくり授業等を通して、これまでも地区の皆様から様々な意見をいただいております。貴重なご意見をありがとうございました。

今後、令和6年7月の策定に向けて、いただいた意見の反映などを行ってまいります。その間も引き続き、地区の皆様からのご意見を募集しておりますので、以下の期間内にお寄せください。

なお、防災まちづくり計画(案)については区のホームページに掲載している他、方南図書館、コミュニティふらっと方南、不燃化推進係窓口(杉並区西棟3階)で閲覧することができます。



## 防災まちづくり計画(案)は区のホームページでご覧いただけます

防災まちづくり計画(案)やこれまでのオープンハウスのパネル、防災まちづくり通信のバックナンバーは区のホームページからご覧いただけます。

方南一丁目のまちづくり 検索



防災まちづくり計画(案)オープンハウスのパネル二次元コード



防災まちづくり通信二次元コード

方南一丁目地区防災まちづくり計画(案)について、ご意見などをご記入ください。

## 意見募集期間 4月1日～5月10日

①郵便ポストへ投函(切手不要)

②Webで回答

③ファクシミリ(03-3312-2907)

④不燃化推進係窓口へ持参

(平日8:30から17:00まで)



Web回答用二次元コード

## 【問い合わせ先】

杉並区都市整備部 市街地整備課 不燃化推進係

電話：03-3312-2111(内線) 3365・3366

年齢を教えてください。

- ① 10代以下 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代  
⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代 ⑧ 80代以上

④

方南一丁目地区

# 防災まちづくり通信



第17号

発行日：令和6年3月 発行：杉並区都市整備部市街地整備課不燃化推進係

## 防災まちづくり計画(案)のオープンハウスを開催しました

日頃より、杉並区のまちづくりにご理解とご協力をいただきありがとうございます。

区では令和6年3月1日～2日の2日間、方南図書館と方南小学校で今年度2回目のオープンハウスを開催し、107名の方にご来場いただきました。いただいたご意見については2～3ページをご覧ください。

また、3月2日に開催した方南小学校でのオープンハウスでは、方南小学校で防災まちづくり授業を行った際に生徒が作成した「防災まちづくりの提案書」の展示を行いました。



▲方南図書館でのオープンハウスの様子(3/1開催)



▲方南小学校でのオープンハウスの様子(3/2開催)



▲方南小学校での防災まちづくり提案書の展示(3/2開催)

## 方南小学校で防災まちづくり授業を行いました

子どもの視点で防災まちづくりについて考え、その意見を方南一丁目地区防災まちづくり計画に反映させるため、令和6年2月20日、22日に、方南小学校3年生のみなさんに防災まちづくり授業を行いました。建物、道路、公園の3つのテーマに沿って、安全なまちにするためにはどうすればよいのかなどを考えてもらい、「防災まちづくり提案書」として約400件の提案・アイデアをもらいました。



▲区職員による防災まちづくり授業の様子



▲班ごとに提案書を作成している様子



▲防災まちづくり提案書の例

## 主な提案・アイデア

- 古い建物を建て替える
- 古い建物をこわして道をつくる
- 建物の間隔をあける
- 地区の中央に公園をつくる
- 新しく広い道をつくる
- 小さい公園をたくさんつくる

①

# オープンハウスでいただいた主な意見

## 幅員6m以上の道路拡幅整備について

道路を広げることの優先度が高いと感じた。計画を進めてほしい。

道路を広げてほしいが、沿道の方の理解が必要だ。

防災だけでなく、小学生の通学路としても重要であり、安全な道路にしてほしい。

## ポケットパークの整備について

ポケットパークはちょっと休憩するなど、高齢者にとっては便利である。

ポケットパークはよいが、ごみを捨てられない工夫が必要だ。

ポケットパークは必要だと思うが、自分の敷地の隣に作るのを嫌がる人もいないか。

空地が少ないのでポケットパークがあるとよい。

## 地区内の建物について

建替えがかなり進んでいる印象がある。

自分だけ新しく建替えても周りが建替わらなければ燃え広がってしまうのではないかと。

敷地の細分化が問題だと思う。

## 狭あい道路と電柱について

地区外から引っ越してきたが、狭あい道路が多く複雑なので、消防車が来れないのではないかと。

狭あい道路を広げても、電柱が元の場所のままでは消防車が通り抜けられないため、意味がないのではないかと。沿道住民の理解が必要なら、住民の意識を変えていかないと。

## 地域で連携した防災対応力について

日頃の近所づきあいで注意し合うなど、出来る事からやるのが良い。

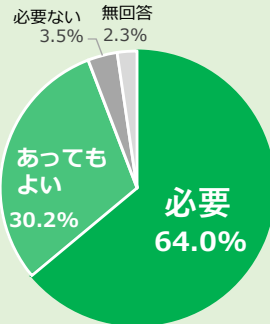
区と地域がどう連携していくのか町会に相談してほしい。

# アンケートの結果(中間報告)

防災まちづくり通信第16号とオープンハウスで、防災まちづくり計画の策定後の取組(ポケットパーク、幅員6m以上の道路整備)に関するアンケートを行いました。3月11日時点で、郵送回答21件、WEB回答19件、オープンハウスでの回答46件、合わせて86件の回答がありました。**なお アンケートは3月29日まで実施中です。**

## 問1 ポケットパークについて

方南一丁目地区では、まとまった規模の場所が少ないこともあり、公園用地の確保が難しい現状にあります。そこで、公園とするには規模が小さい場所について、地域の防災機能の拡充やちょっとした休憩スペースになる「**ポケットパーク**」として整備することを検討します。

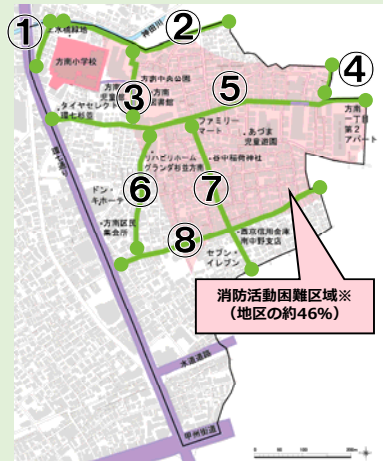


- 主なご意見**
- ・平常時は憩いやコミュニティ、子供の遊び場になる
  - ・空き地や空き家の活用につながる
  - ・屋根付きベンチや、健康器具を設置してほしい
  - ・駐輪やゴミのポイ捨て、騒音、治安の問題が心配だ
  - ・目的を設定して、数や立地を検討してほしい
  - ・根本的には解決しないが、まとまった用地確保ができないのでやむを得ない

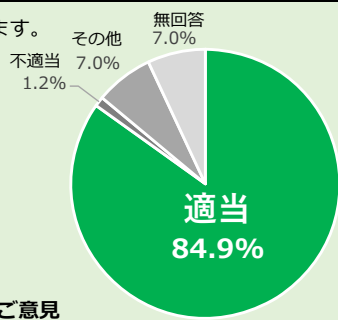
## 問2 幅員6m以上の道路整備路線の考え方

地震等による火災発生時に安全に避難できるまちの実現を目指すため、**緊急車両の通行や安全・円滑な避難が可能となる幅員6m以上の道路整備と、沿道建物の建て替えに併せた不燃化・耐震化を進めます。**

また、方南一丁目地区においては、環七通りに連続する道路(①、⑤、⑧)を幅員6m以上に整備した場合、消防活動困難区域の解消に寄与することとなります。



	幅員6m以上の道路整備路線
	震災救援所(方南小学校)
	消防活動困難区域
	現況幅員6m以上の道路



※消防活動困難区域とは  
消防車が円滑に通行し、活動できる幅員6m以上の道路から、半径140m(ホースが届く長さ)以上離れている区域のこと。

- 主なご意見**
- ・効果が高い⑤を優先して整備してほしい
  - ・⑤⑧は中野通りや環七からの迂回路になる可能性があり危険
  - ・万一に備えて日々の交通事故が増えてはいけないので、通行安全性も高まることを具体的に示してほしい
  - ・⑦はスピードを出す車や逆走車両が多く、通学時間は通行制限するなど様々な工夫をする必要がある
  - ・沿道地権者の理解を得るために話し合いが必要であり、敷地や建物への規制緩和などの代替案を適切に検討してほしい
  - ・気持ちよく立退きしてもらうために、十分な補償額を用意すべき
  - ・他区に連続する道路が狭いままだと効果が弱まるのではないかと

郵便はがき

1668701

料金を取らず郵便  
  
 9233  
 差出有効期間  
 令和7年3月31日  
 まで  
 (切手不要)

市街地整備課  
 不燃化推進係  
 行

杉並区阿佐谷南一丁目15番1号

